

CUBE SYSTEM

2020年7月29日



2021年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

証券コード 2335

Contents

1 2021年3月期 第1四半期
決算概況

2 2021年3月期
見通し

3 **巻末資料**

その他参考資料

2021年3月期 第1四半期

1 決算概況

1. 連結損益計算書概要
2. 会計期間推移
3. 営業利益の増減要因（前年同期比較）
4. 品目別売上高・売上総利益推移
5. 業種別売上高・売上総利益推移
6. 一人当たり指標

1-1. 連結損益計算書概要

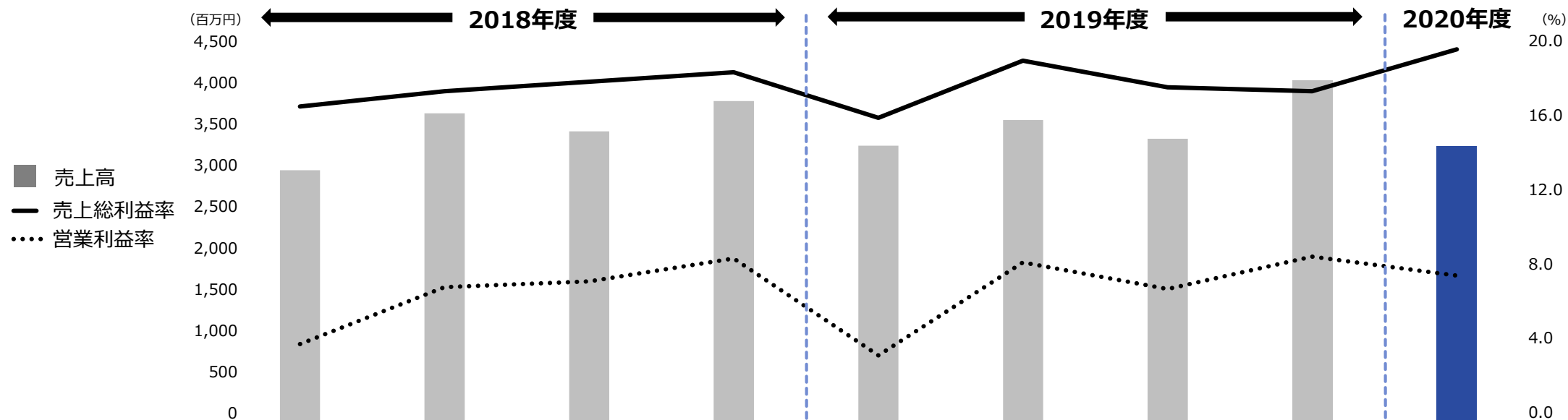
決算概況

売上高は前年並みも、不採算案件の解消および コロナ禍における出張旅費等のコスト抑制により増益

		2020年6月 実績 (増減率)	2019年6月 実績	2021年3月期 業績予想 (進捗率)
前期実績より 0.2%減 業績予想に対する達成率は 21.1%		(単位：百万円)		
売上高	通信・運輸業における宅配便事業会社向けシステム構築案件が拡大 前期の売上を牽引した流通業における消費税対応案件および製造業における建設機械メーカー向けシステム構築案件の終息による減収	3,373 (△0.2%)	3,379	16,000 (21.1%)
営業利益	前期実績より 141.3%増 業績予想に対する達成率は 21.6% 不採算案件の解消および出張旅費等のコストを抑制したことによる増益	242 (+141.3%)	100	1,120 (21.6%)
同利益率		7.2%	3.0%	7.0%
経常利益		248 (+130.8%)	107	1,120 (22.2%)
同利益率		7.4%	3.2%	7.0%
今後の見通し	新型コロナウイルス感染症の収束状況は不透明 企業のIT投資抑制や案件の延期等によるシステムインテグレーション需要の減少懸念 2020年5月12日の「2020年3月期決算短信」公表の通期業績予想の変更はしない	165 (+229.3%)	50	700 (23.6%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益				
同利益率		4.9%	1.5%	4.4%

1-2. 会計期間推移

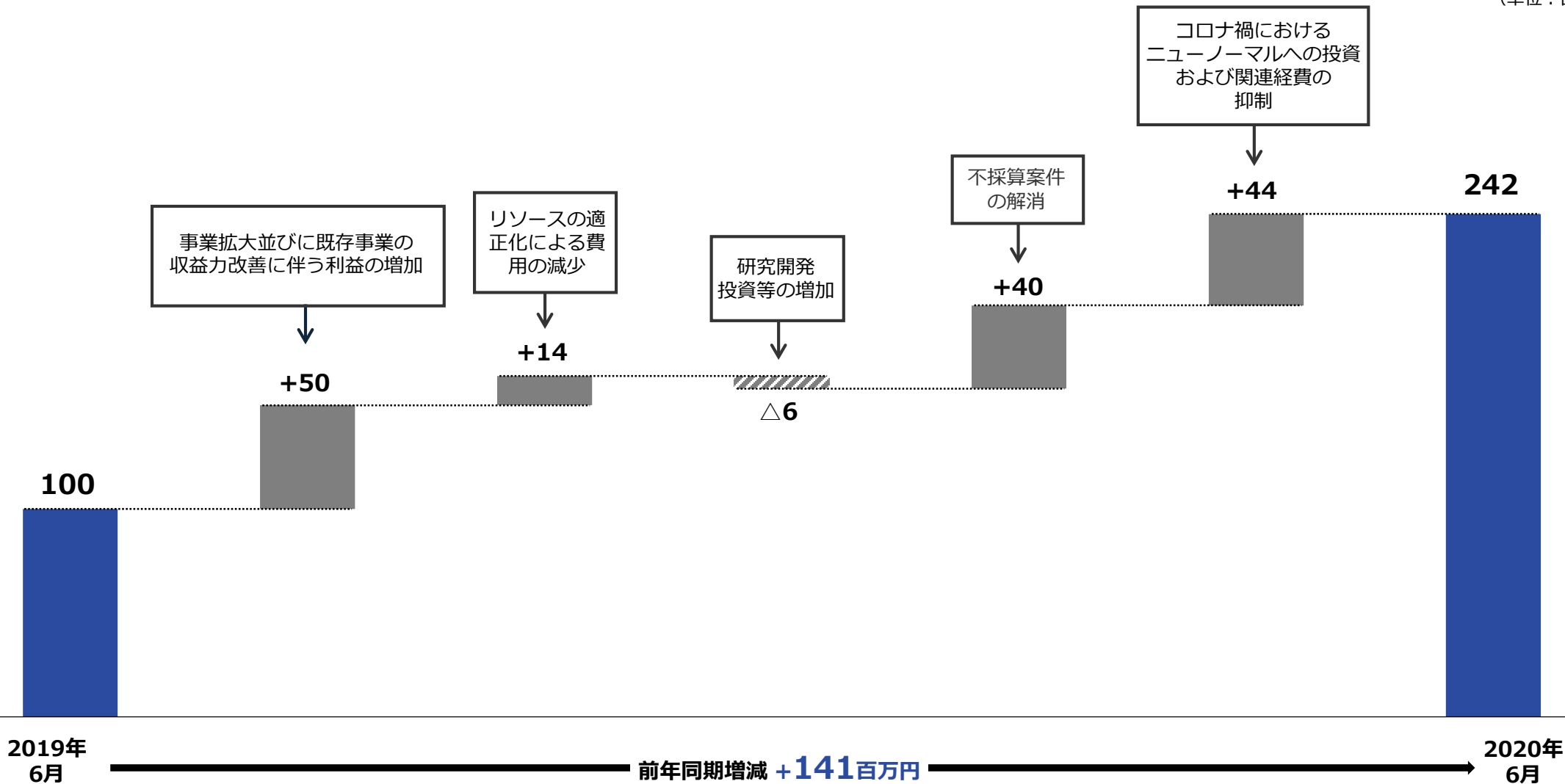
決算概況



	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月
売上高	3,082	3,770	3,551	3,920	3,379	3,691	3,463	4,172	3,373
売上原価	2,586	3,134	2,934	3,220	2,855	3,007	2,872	3,468	2,730
売上総利益	495 (16.1%)	635 (16.9%)	617 (17.4%)	700 (17.9%)	524 (15.5%)	683 (18.5%)	591 (17.1%)	703 (16.9%)	642 (19.1%)
販売費及び一般管理費	385	387	370	383	423	391	365	362	400
営業利益	109 (3.6%)	248 (6.6%)	246 (6.9%)	316 (8.1%)	100 (3.0%)	291 (7.9%)	225 (6.5%)	340 (8.2%)	242 (7.2%)
経常利益	132 (4.3%)	243 (6.5%)	255 (7.2%)	327 (8.4%)	107 (3.2%)	290 (7.9%)	230 (6.7%)	347 (8.3%)	248 (7.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76 (2.5%)	149 (4.0%)	158 (4.5%)	212 (5.4%)	50 (1.5%)	191 (5.2%)	150 (4.4%)	132 (3.2%)	165 (4.9%)

1-3. 営業利益の増減要因 (前年同期比較) 決算概況

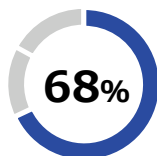
(単位：百万円)



1-4. 品目別売上高・売上総利益推移

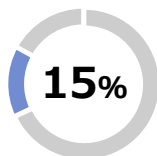
決算概況

売上高構成比 [2020年6月]



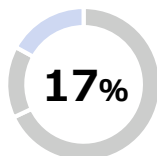
システムインテグレーション・サービス

- 運輸業における宅配便事業会社向けシステム構築案件の拡大
- 教育事業会社向けシステム構築案件の拡大
- 製造業における建設機械メーカー向けシステム構築案件の終息
- 流通業向け案件の規模縮小
- 金融業におけるネットバンク向けシステム構築案件の縮小



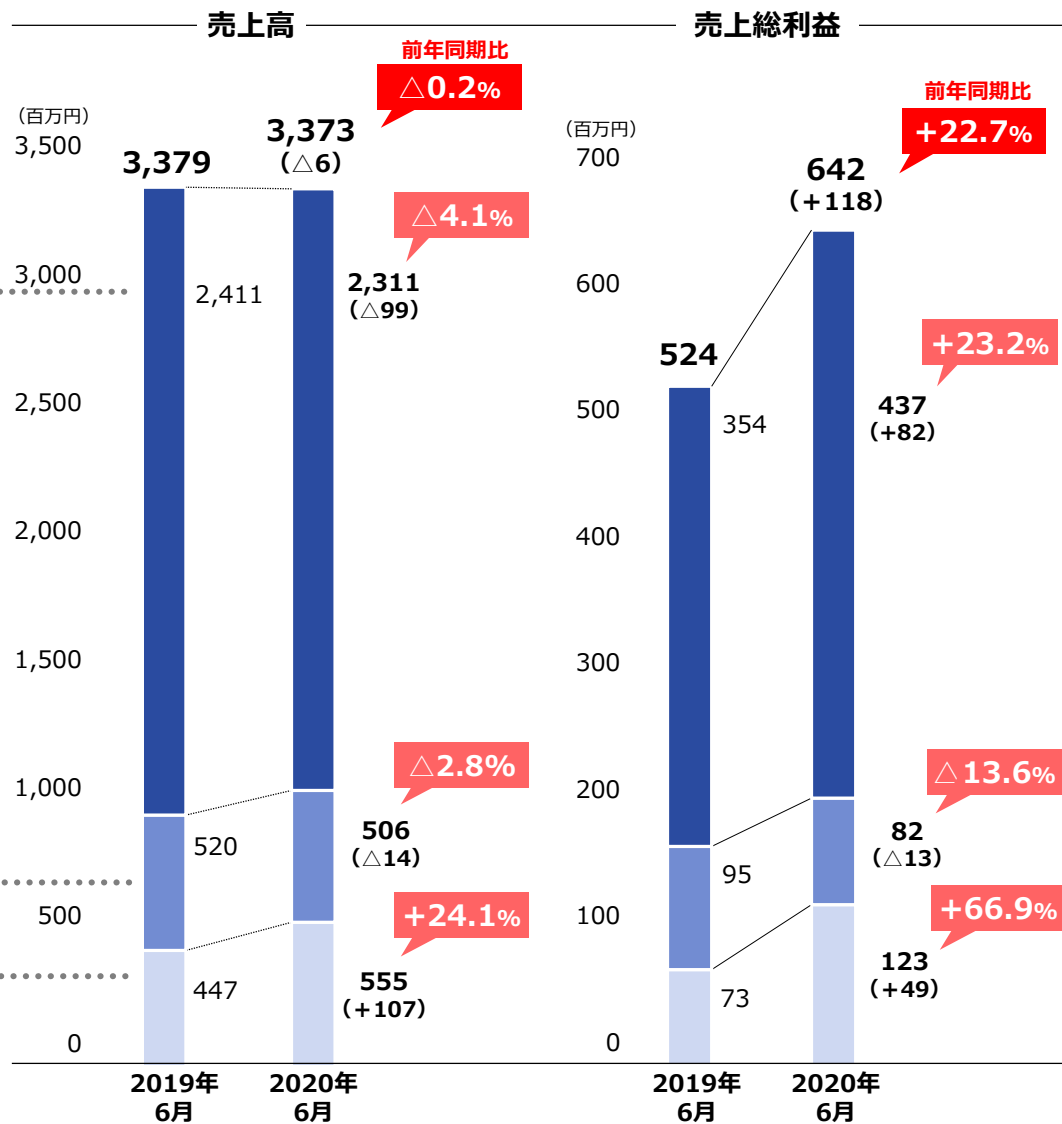
システムアウトソーシング・サービス

- 流通業におけるアウトソーシング案件の縮小



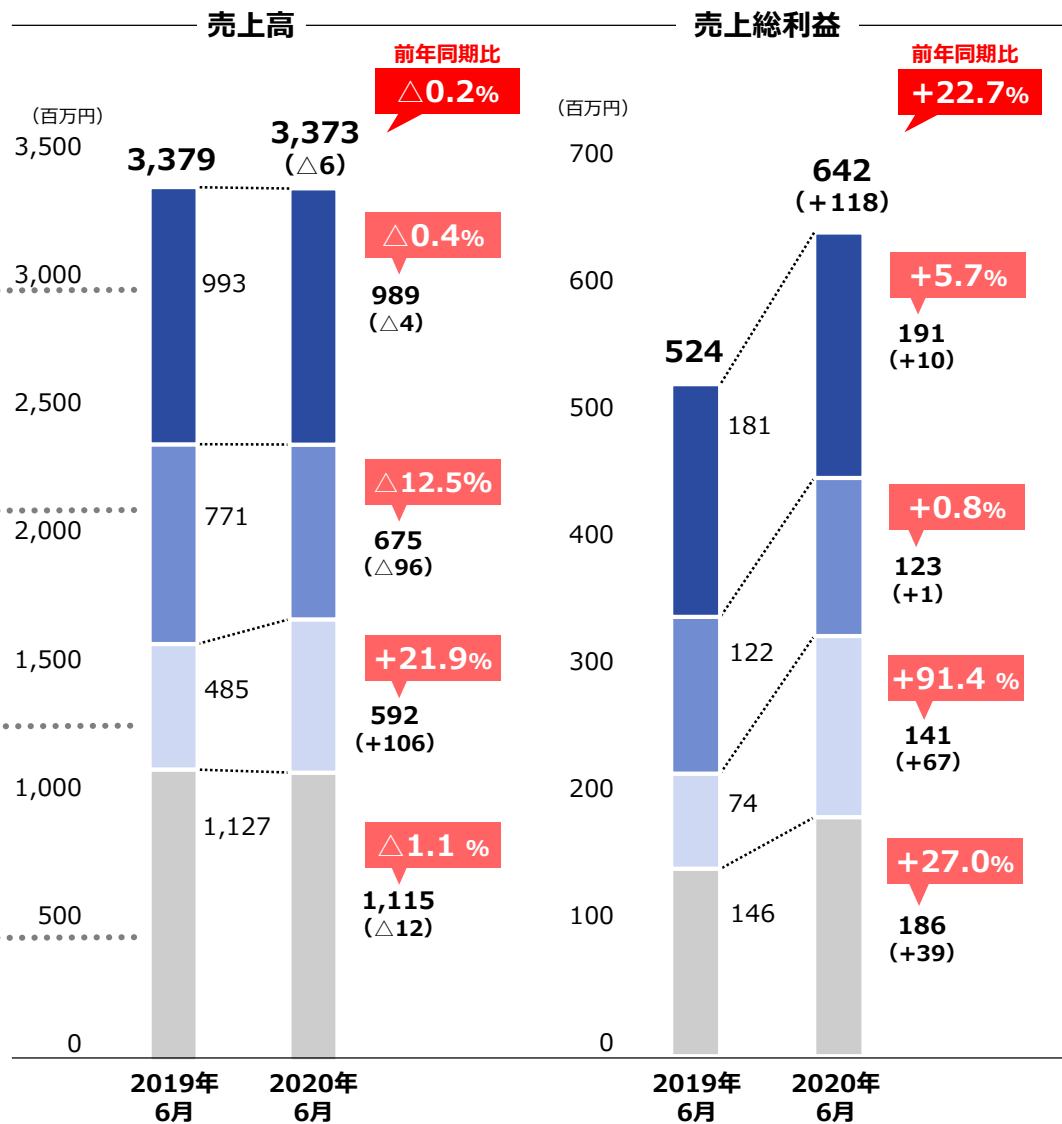
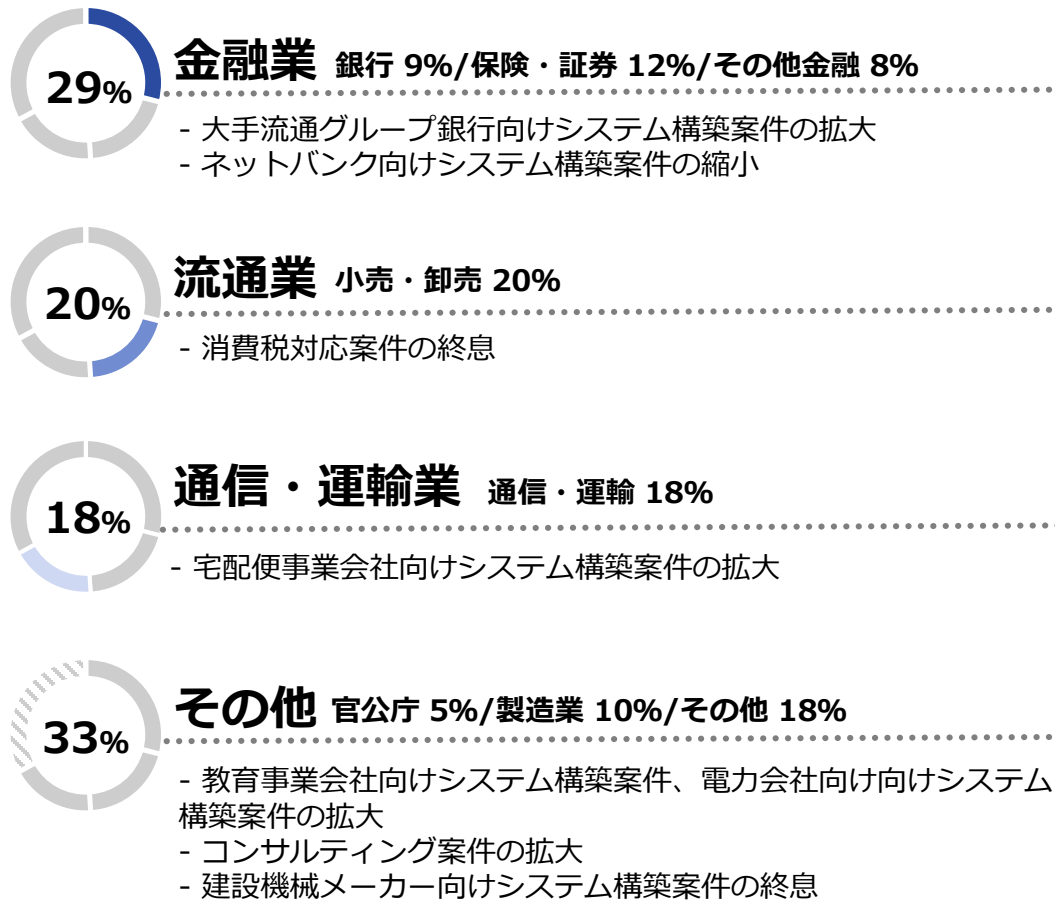
プロフェッショナル・サービス

- 通信キャリア向けシステム構築案件の拡大
- 大手流通グループ銀行向けシステム構築案件の拡大
- コンサルティング案件の拡大



1-5. 業種別売上高・売上総利益推移 決算概況

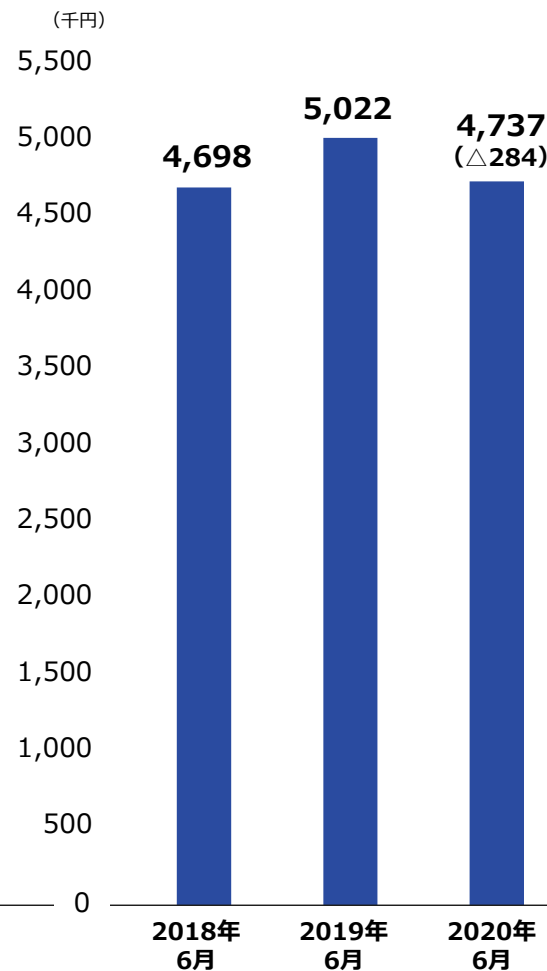
売上高構成比 [2020年6月]



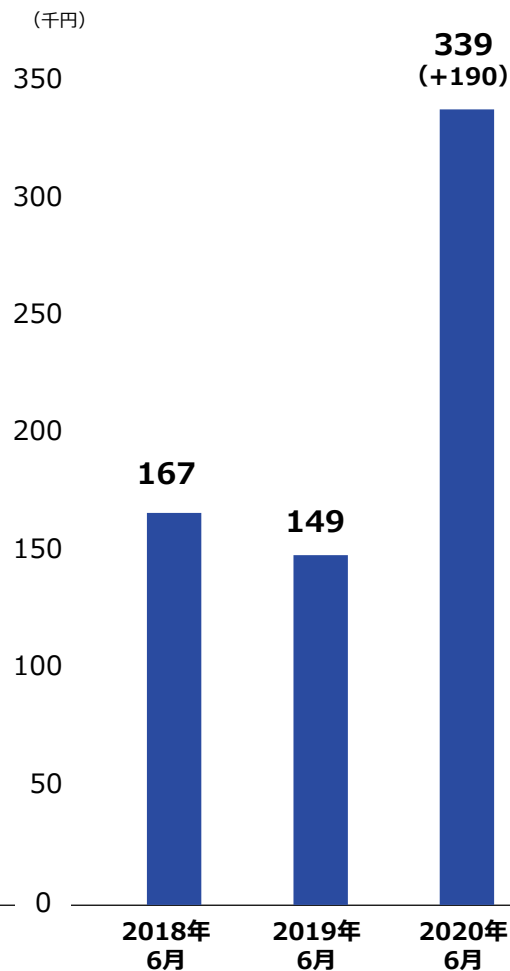
1-6. 一人当たり指標

決算概況

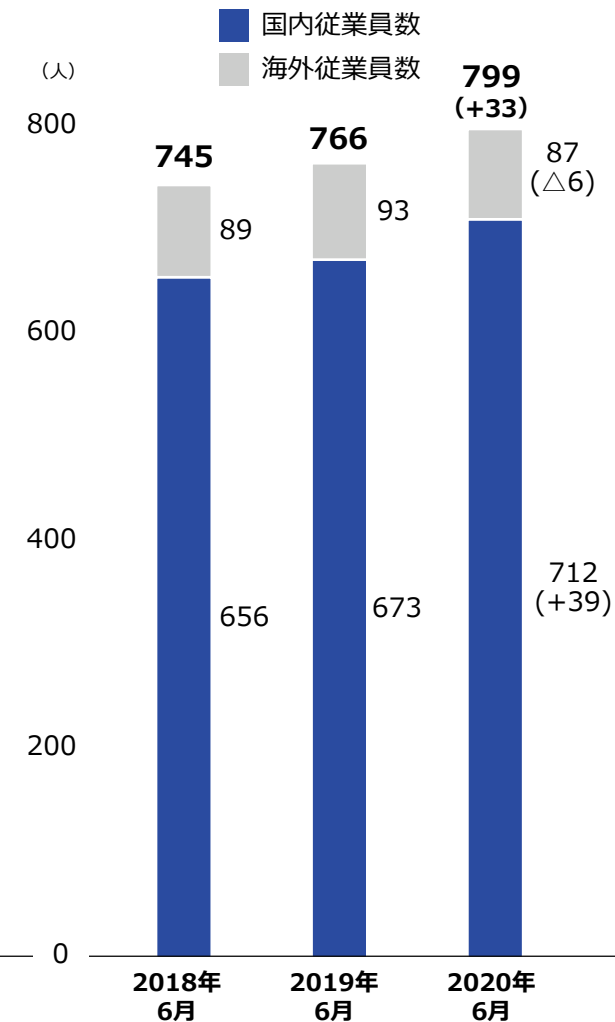
一人当たり売上高※



一人当たり営業利益※



従業員数



※「国内従業員数」にて算出しております。

2 2021年3月期 見通し

1. 業績見通しの概要
2. 品目別受注状況
3. 業種別受注状況
4. 業種別売上高見通し
5. 配当金および配当性向の推移

2-1. 業績見通しの概要

見通し

2021年3月期
業績予想
(前期増減率)

2020年6月
実績
(進捗率)

(単位：百万円)

	2021年3月期 業績予想 (前期増減率)	2020年6月 実績 (進捗率)
<p>売上高</p> <p>前期比8.8%増を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> - 主要アカウントに対する営業力強化によるエンハンスビジネスの維持拡大 - 顧客の戦略的IT投資案件に対する営業力強化(新たなマーケット X チャンネル X エリアへの展開) - DXビジネスの新規開拓 	<p>売上高</p> <p>16,000 (+8.8%)</p>	<p>3,373 (21.1%)</p>
<p>営業利益</p> <p>前期比16.8%増を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> - エンハンスサービスの高度化による収益力の向上 - 高生産性を実現する開発体制の整備 - システム開発会議を新設し、品質向上施策の強化 - 業務生産向上のための自社のデジタル化推進 	<p>営業利益</p> <p>1,120 (+16.8%)</p>	<p>242 (21.6%)</p>
	<p>同利益率</p> <p>7.0%</p>	<p>7.2%</p>
	<p>経常利益</p> <p>1,120 (+14.7%)</p>	<p>248 (22.2%)</p>
	<p>同利益率</p> <p>7.0%</p>	<p>7.4%</p>
	<p>親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益</p> <p>700 (+33.3%)</p>	<p>165 (23.6%)</p>
	<p>同利益率</p> <p>4.4%</p>	<p>4.9%</p>

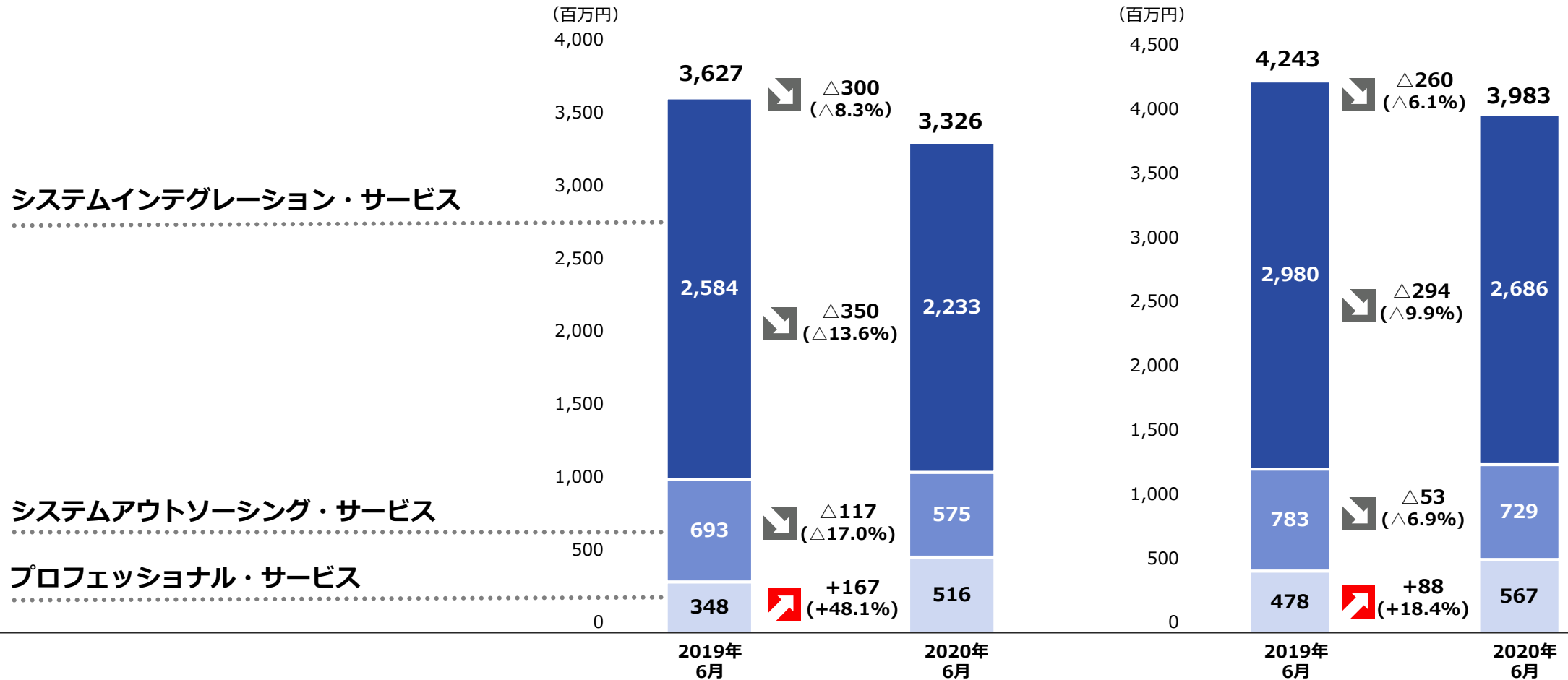
※ 新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、顧客企業による新規開発案件の凍結や商談機会の減少など営業活動への影響が見込まれる一方で、社会活動を維持するためにICTの積極活用によりこの局面を乗り切ろうとする動きも見られます。このような状況の中、次期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい徐々に経済・社会活動が回復する仮定のもと算出しており、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、業績予想を変更する可能性があります。

2-2. 品目別受注状況

見通し

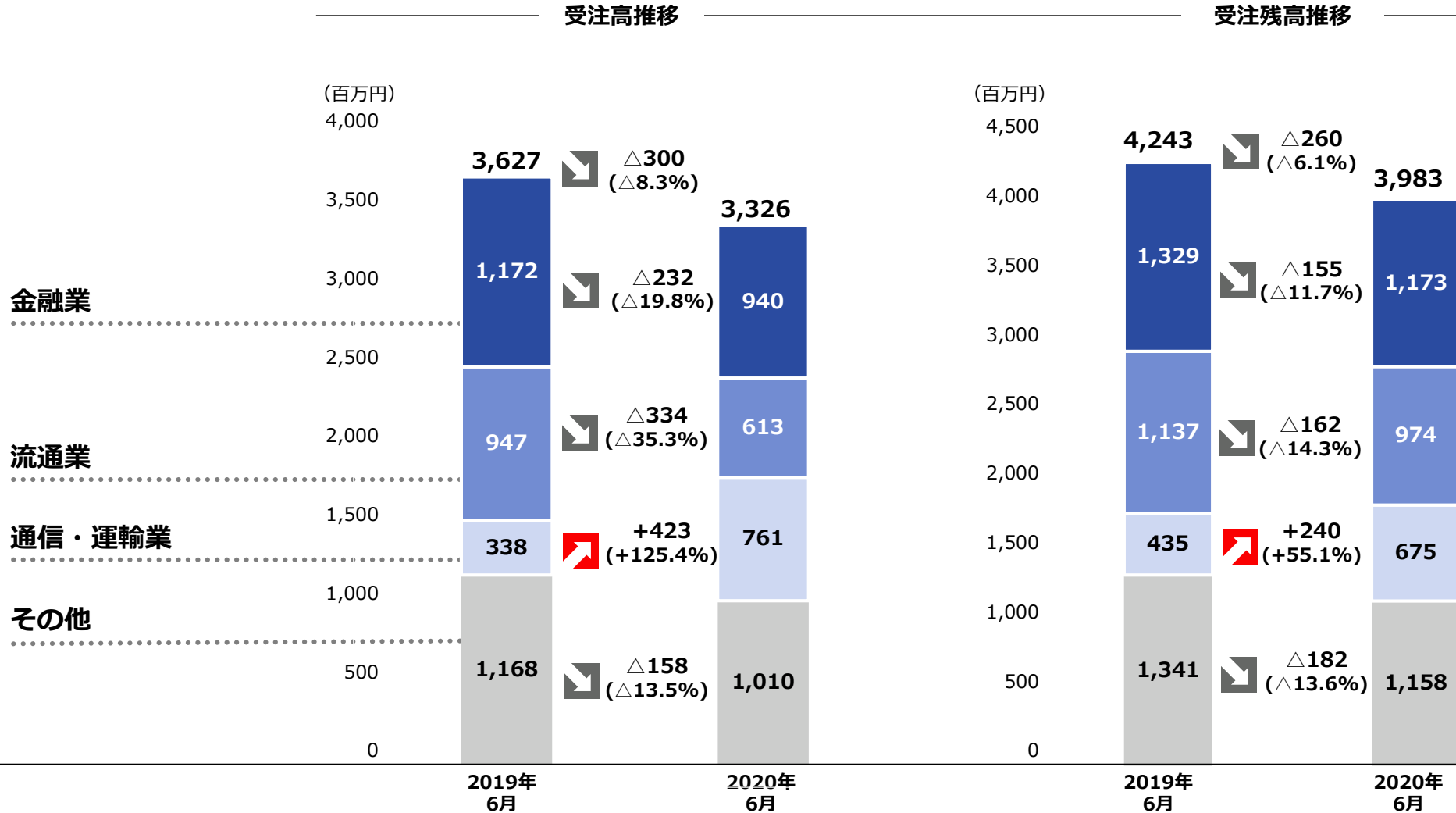
受注高推移

受注残高推移



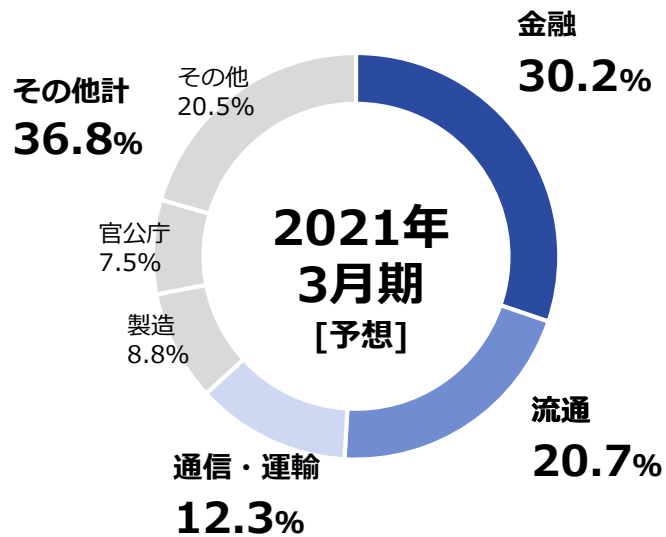
2-3. 業種別受注状況

見通し

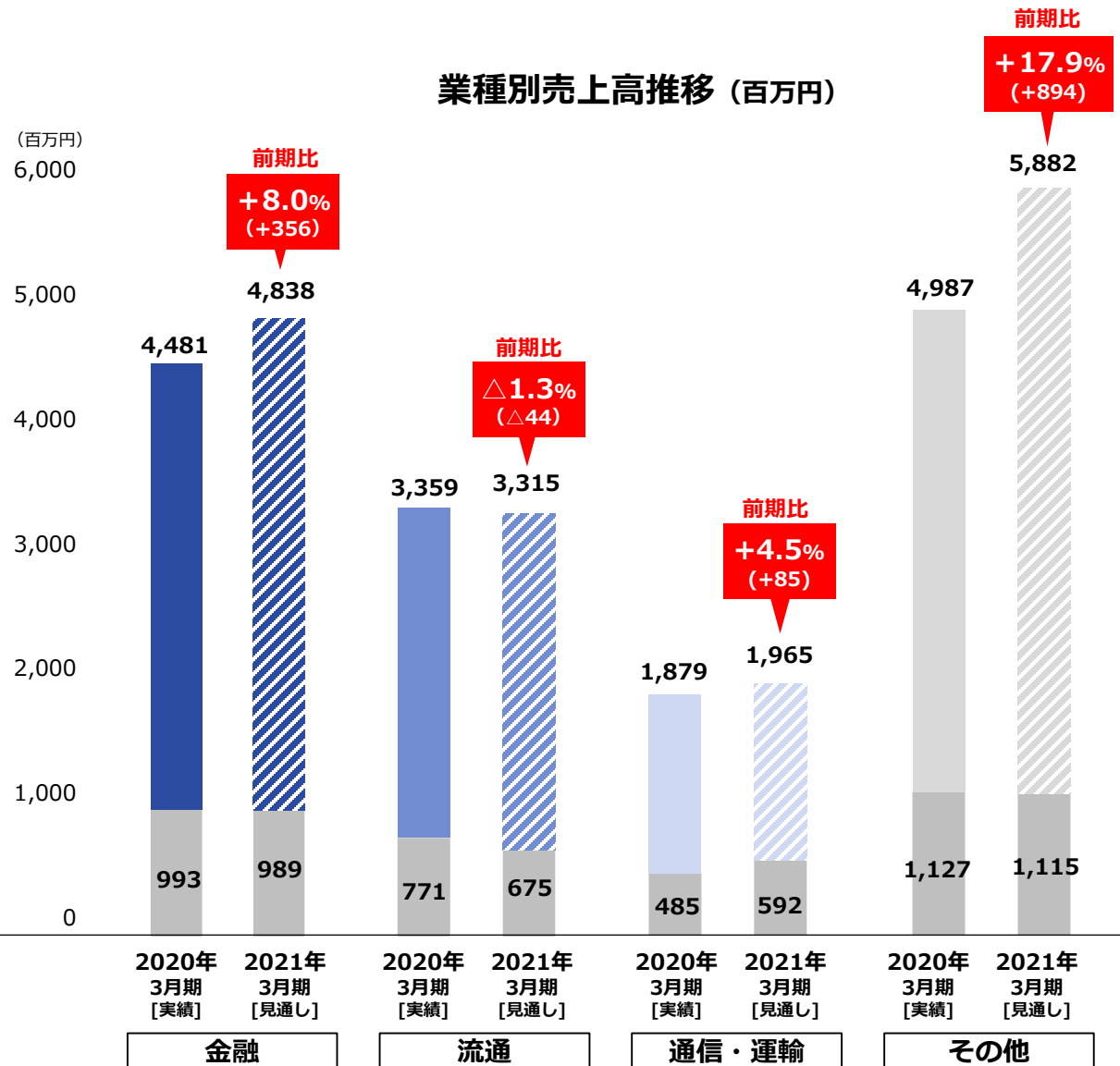


2-4. 業種別売上高見通し 見通し

業種別売上高構成比 [21/3業績予想]

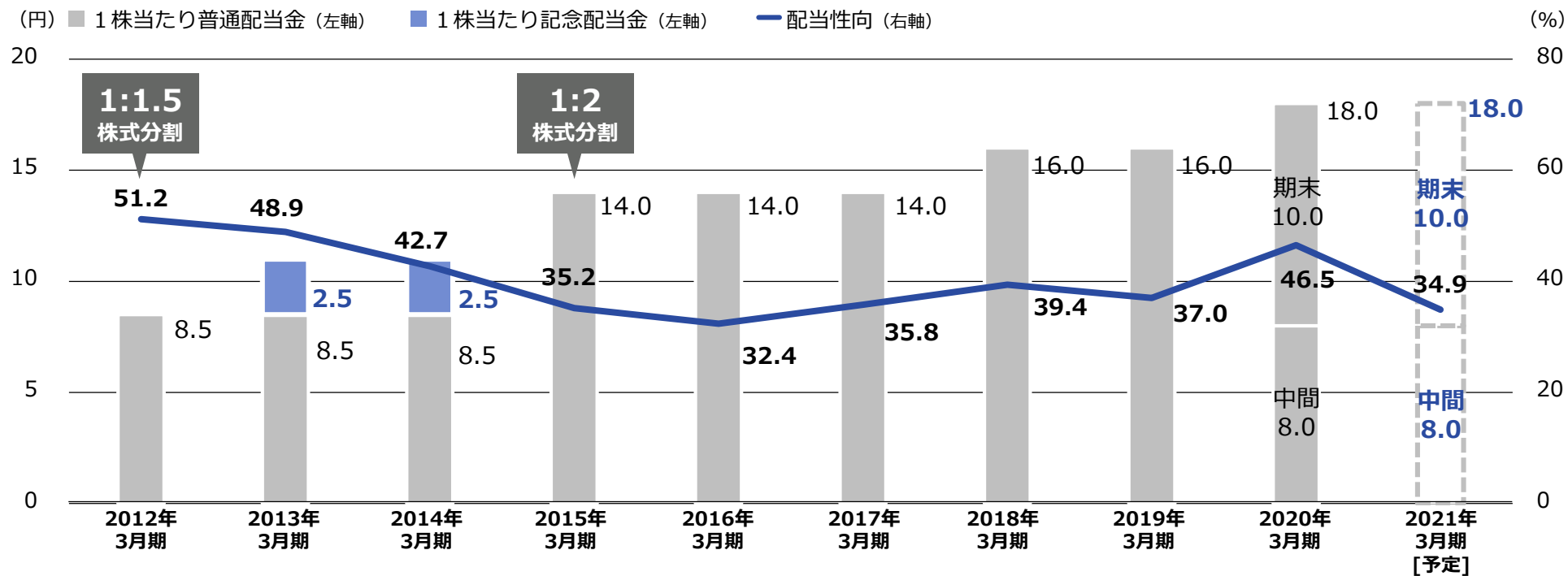


業種別売上高推移 (百万円)



2-5. 配当金および配当性向の推移 見通し

今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります。



※1 配当金は、2011年4月1日の1:1.5の株式分割、2014年10月1日の1:2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

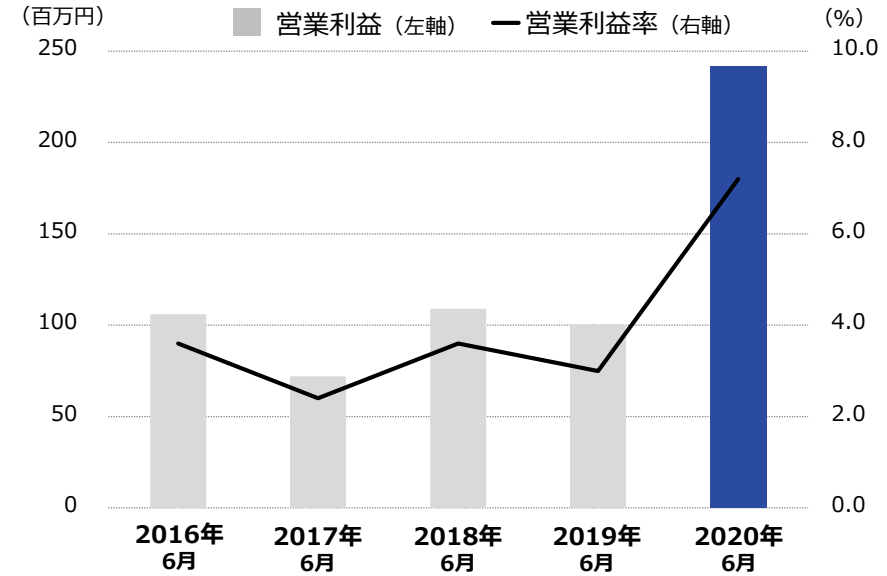
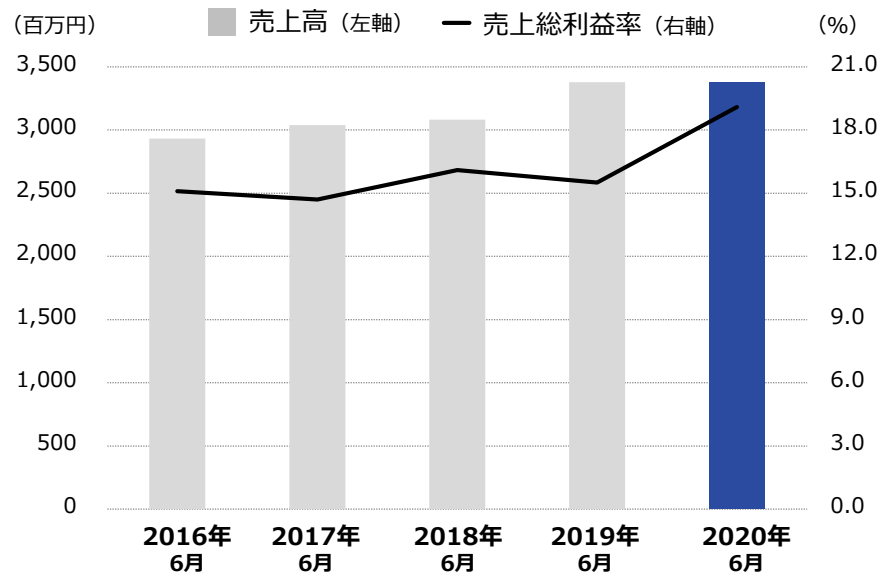
※2 2012年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

3 卷末資料

1. 5 力年推移
2. 連結貸借対照表 主要項目抜粋
3. 品目別売上高・売上総利益
4. 業種別売上高・売上総利益
5. 資産・資本関連
6. 株価・株式関連

3-1. 5力年推移

巻末資料



(単位：百万円)

	2016年6月	2017年6月	2018年6月	2019年6月	2020年6月	前年同期比
売上高	2,934	3,039	3,082	3,379	3,373	△0.2%
売上原価	2,492	2,591	2,586	2,855	2,730	△4.4%
売上総利益	441 (15.1%)	448 (14.7%)	495 (16.1%)	524 (15.5%)	642 (19.1%)	+22.7%
販売費及び一般管理費	335	375	385	423	400	△5.4%
営業利益	106 (3.6%)	72 (2.4%)	109 (3.6%)	100 (3.0%)	242 (7.2%)	+141.3%
経常利益	99 (3.4%)	73 (2.4%)	132 (4.3%)	107 (3.2%)	248 (7.4%)	+130.8%
親会社株主に帰属する 四半純利益	57 (2.0%)	32 (1.1%)	76 (2.5%)	50 (1.5%)	165 (4.9%)	+229.3%

3-2. 連結貸借対照表 主要項目抜粋

巻末資料

(単位：百万円)

資産の部	20/3	20/6	増減
流動資産	6,241	6,226	△15
現金及び預金	3,577	3,734	+157
売掛金	2,358	1,985	△373
有価証券	100	100	-
仕掛品	26	227	+201
その他	179	178	△0
固定資産	1,805	1,805	△0
有形固定資産	188	180	△8
無形固定資産	12	11	△0
投資その他の資産	1,604	1,613	+9
資産合計	8,047	8,031	△15

負債の部	20/3	20/6	増減
流動負債	1,874	1,761	△112
買掛金	687	672	△15
短期借入金	240	240	-
その他	946	849	△97
固定負債	540	546	+6
負債合計	2,414	2,307	△106
純資産の部	20/3	20/6	増減
株主資本	5,451	5,476	+25
その他の包括利益累計額	146	211	+65
非支配株主持分	35	35	△0
純資産合計	5,632	5,724	+91
負債・純資産合計	8,047	8,031	△15

3-3. 品目別売上高・売上総利益

-4. 業種別売上高・売上総利益

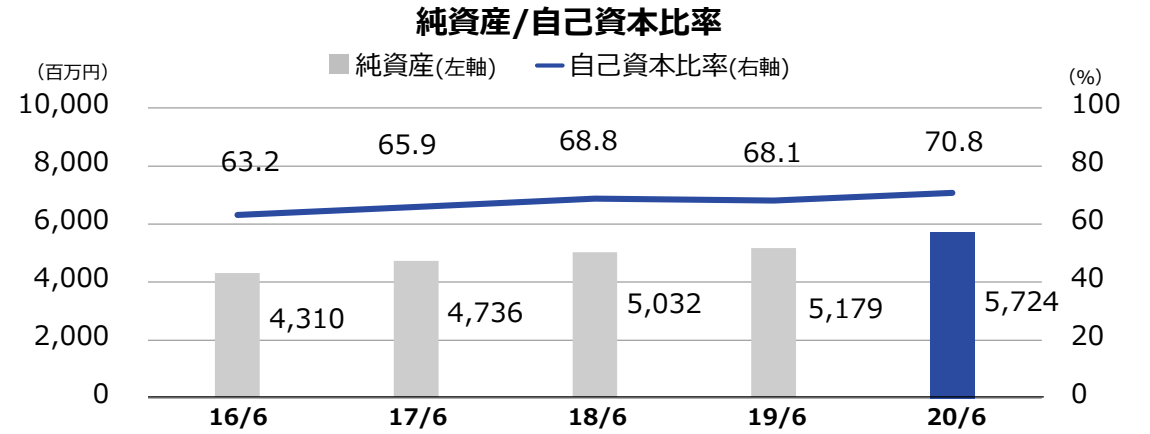
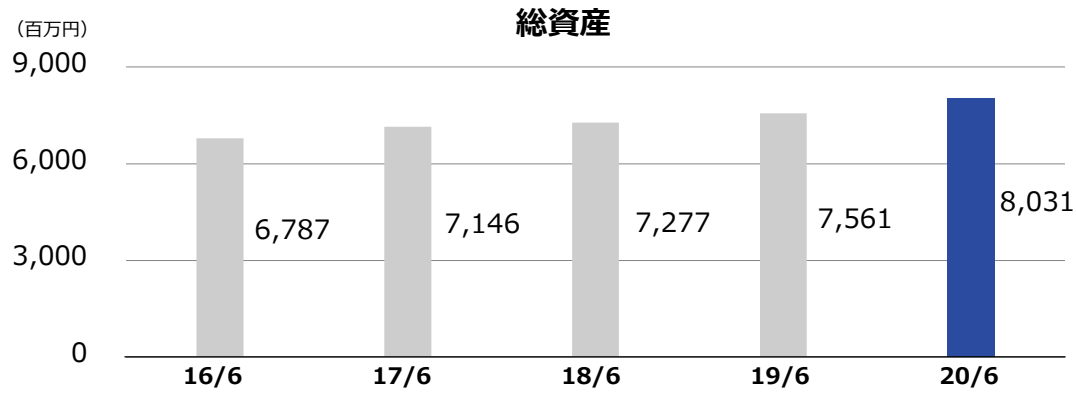
(単位：百万円)

品目別売上高・売上総利益		19/6	20/6	前年同期比
システム インテグレーション・ サービス	売上高	2,411	2,311	△4.1%
	売上総利益	354	437	+23.2%
	売上総利益率	14.7%	18.9%	
システム アウトソーシング・ サービス	売上高	520	506	△2.8%
	売上総利益	95	82	△13.6%
	売上総利益率	18.4%	16.3%	
プロフェッショナル・ サービス	売上高	447	555	+24.1%
	売上総利益	73	123	+66.9%
	売上総利益率	16.5%	22.2%	
合計	売上高	3,379	3,373	△0.2%
	売上総利益	524	642	+22.7%
	売上総利益率	15.5%	19.1%	

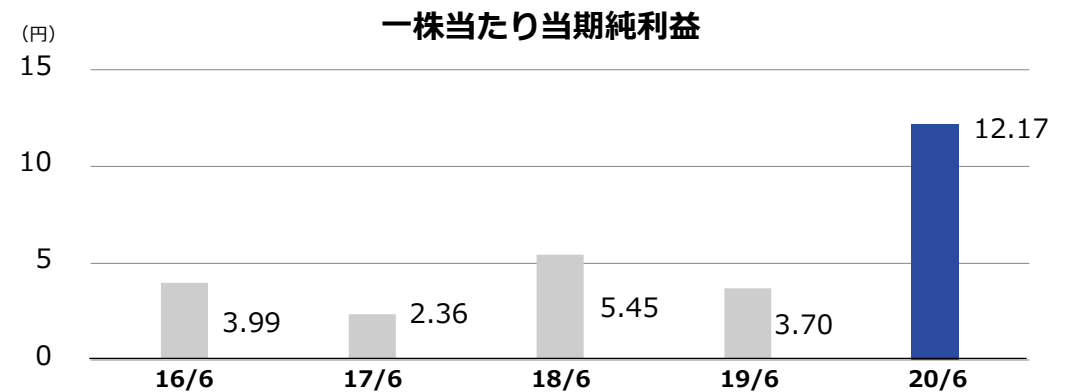
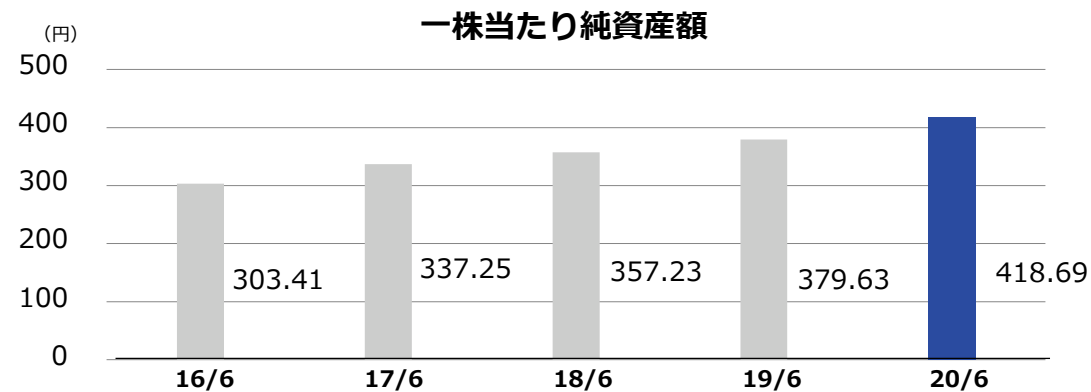
(単位：百万円)

業種別売上高・売上総利益		19/6	20/6	前年同期比
金融業	売上高	993	989	△0.4%
	売上総利益	181	191	+5.7%
	売上総利益率	18.2%	19.3%	-
流通業	売上高	771	675	△12.5%
	売上総利益	122	123	+0.8%
	売上総利益率	15.9%	18.3%	-
通信業	売上高	485	592	+21.9%
	売上総利益	74	141	+91.4%
	売上総利益率	15.2%	23.9%	-
製造業	売上高	396	329	△16.9%
	売上総利益	45	56	+22.7%
	売上総利益率	11.6%	17.1%	-
官公庁	売上高	245	182	△25.6%
	売上総利益	34	24	△28.0%
	売上総利益率	14.1%	13.6%	-
その他	売上高	486	603	+24.2%
	売上総利益	66	105	+58.7%
	売上総利益率	13.6%	17.4%	-

資産・資本関連



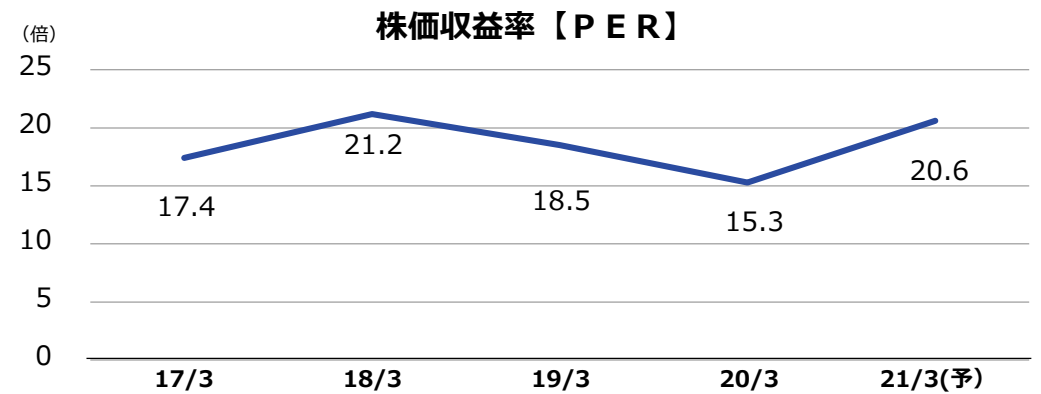
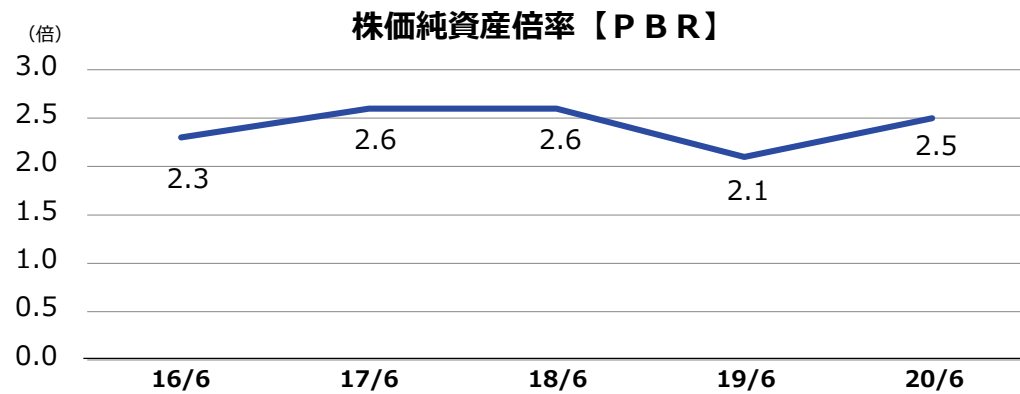
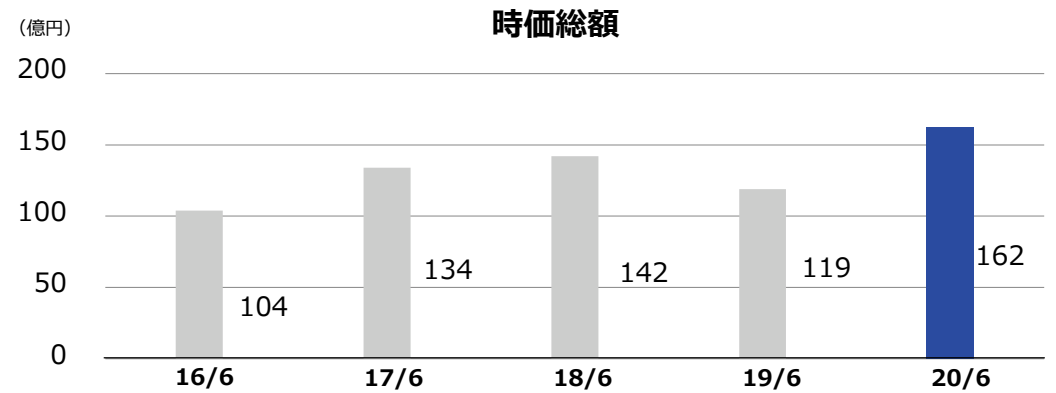
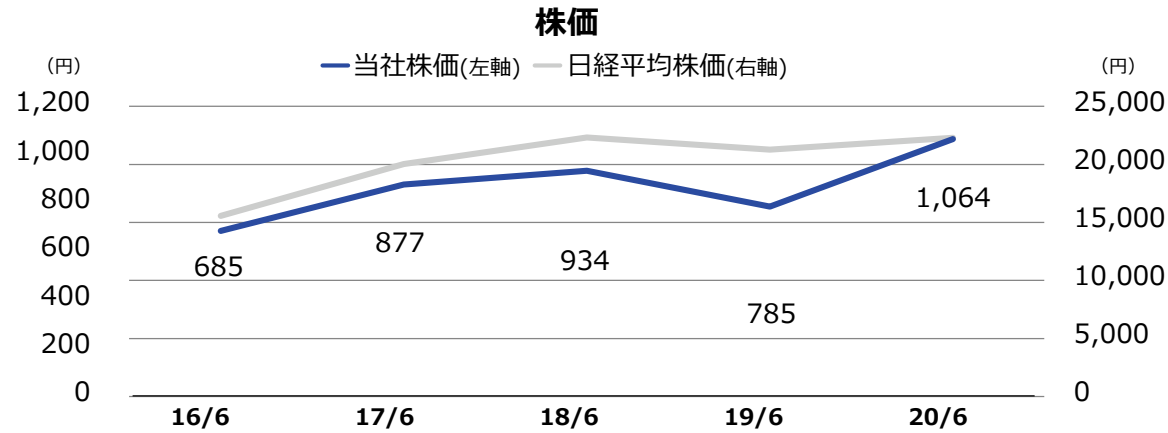
株価・株式関連



3-6. 株価・株式関連

巻末資料

株価・株式関連



※ 2021年3月期(予想)は、6月末時点の株価及び通期の業績予想における1株当たり当期純利益を用いて算出しております。

その他
参考資料

ニューノーマルに向けた働き方について

ニューノーマルに向けた働き方について

その他資料

ニューノーマル（新常态）に向けた最適な働き方の実現に向けて 社長執行役員を統括とした4つのタスクフォースの活動を開始

設置の狙い

アフターコロナ、ニューノーマルに向けたタスクフォース活動を開始。

直近対策と第2波に備えた施策に加え、中長期的施策（V2026に同期）に分け、直近対策はスピーディに実施。

社員一人ひとりが、それぞれの業務特性や能力特性の観点から、最も適した場所で業務を遂行できる働き方を実現する。

4つのタスクフォース

- **オフィス環境** 働く場所とツールの整備
コミュニケーションや生産性を維持・向上し、就業する場所に縛られない働き方環境とそれを支えるオフィス環境を構築する
- **社内業務プロセス** 業務プロセスへの徹底的な見直しとデジタル化
ガバナンス体制を維持・向上し、ニューノーマル時代においても持続的成長を支えられる業務プロセスの変革を実行する
- **プロジェクト遂行環境** キューブらしさを維持した新たな営業スタイルへ
お客様とのコミュニケーション手法の抜本的改善やPJにおける生産性の見える化、向上施策を通じ、新たな営業スタイル・PJ運営を実行する
- **制度運用** 規程・ガイドラインの整備
3つのTFを促進するためのガイドラインの整備、社員への周知徹底
非接触型・分散型での就業環境に即した規程等の整備を行う

CUBE SYSTEM

株式会社 キューブシステム

<https://www.cubesystem.co.jp/>

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。